

環境保全工学

1. 水環境保全に関連する以下の問いに答えよ.

- (A) 排水基準は大きく分類するとふたつの項目から構成されている. ひとつはその他の項目であるが, もうひとつの項目は何か.
- (B) 排水基準のその他の項目では 1 日あたり平均的排出水量 50m^3 以上の特定事業場を基準適用の対象とし, それ未満の排水量の事業場を対象外としている. このことはなんと呼ばれるか?
- (C) 条例により国の定める一律排水基準に規制対象項目を追加した排水基準はなんと呼ばれるか?
- (D) 生分解可能な有機物が水中に過剰に流入すると, 水中の溶存酸素が低下し, 水質の悪化につながる. ここで溶存酸素低下の原因は何のどんな働きによるものか?

2. 環境政策に関する以下の問いに答えよ.

- (E) 環境税 (もしくは課徴金) とは, 何にたいして一定額の価格をつけ徴収することで, 汚染物質の排出を抑制する制度か?
- (F) 環境税や課徴金に比べ, 直接規制が有効と考えられる規制の対象物質とはどのようなものか? また直接規制の実効性を高めるために必要なこととはなにか?

3. 廃棄物の政策に関する以下の問いに答えよ.

- (G) 家庭ごみの有料化とはそもそも何のために実施されるものか? また住民が何に応じて, ごみ処理費用の一部を手数料として負担するのか?
- (H) 産業廃棄物の不法投棄において, 排出事業者が原状回復を求められる可能性があるが, これは何という原則に則 (のっと) り, 要求されるのか?
- (I) 製品本来の価格に預り金を上乗せして販売し, 製品の返却後, 預り金を返却する制度はなんと呼ばれるか? またごみ問題のうち, どのようなことを防ぐ効果があるとされているか?

4. リサイクル政策に関する以下の問いに答えよ.

- (J) 資源化貧乏 (リサイクル貧乏) は, とくにプラスチック容器やペットボトルなどのリサイクルで問題になるとされているが, その理由は何か?
- (K) 資源化貧乏 (リサイクル貧乏) の解決策として事業者が出来ることによるようなことがあるか? ただし日本で実施していないことでもよい.